

## 市立小学校の紹介

(児童数・学級数は、令和3年5月1日現在)

### 学校紹介の内容

- <教育目標>
  - <研究主題>
  - <重点教科等>
  - <特色ある学校づくりへの取組>
  - (1) キャッチフレーズ
  - (2) 取組内容
  - (3) 成果
- など

## 草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日  
学級数 23 学級 校長 小松 薫樹  
児童数 738人 教頭 渡辺 真一



- <教育目標>  
考える子 思いやりのある子 たくましい子
- <研究主題>  
主体的に学習に取り組み、互いに高め合う児童の育成  
～児童の個に応じた指導の工夫と  
児童が意欲的に学び合える授業づくりをとおして～
- <重点教科等>  
算数科「学力向上と授業力の向上」
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ  
未来へはばたけけやきっ子～夢を育む草加小学校～
- (2) 取組内容
  - ①児童一人一人を大切にした教育活動の推進
    - ・日々の授業の充実を図る研修への取組
    - ・草加っ子の基礎・基本への取組
    - ・「夢を育む草加小学校」を目指した授業の実施
  - ②地域と共に歩む学校
    - ・家庭・学校・地域が一体となった教育の推進
    - ・「おはなしの森」地域の人材による読み聞かせ
    - ・学校応援団の充実
  - ③潤いのある学校づくり
    - ・「ふるさとの森」「じゃぶじゃぶ池」の整備と教材活用
    - ・「草小みどりの日」「草小もみじの日」の活動
- (3) 成果
  - 149周年目の伝統校として、家庭・学校・地域が一体となり、児童の生きる力の育成が着実に図られている。
  - 児童が夢(目標)をもって学習できるよう、教職員が熱心に取り組んでいる。

## 高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日  
学級数 27 学級 校長 石崎 明子  
児童数 844人 教頭 鈴木 克裕



- <教育目標>  
あかるく かしく たくましく
- <研究主題>  
確かな学力と豊かな心を育成し、  
たくましく生きる児童生徒の育成  
～自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を目指して～
- <重点教科等>  
幼保小中を一貫した教育
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ  
笑顔・やさしさ・パワーあふれる学校
- (2) 取組内容
  - ①学力向上
    - ・市教委研究委嘱「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究
  - ②幼保小中を一貫した教育
    - ・定期的な交流 挨拶運動
  - ③健康・体力の維持・増進
    - ・すくすく委員会(学校保健・安全委員会)実施
    - ・さわやかタイム等体育的諸活動の充実
  - ④読書活動の推進
    - ・朝読書の推進
    - ・図書ボランティアによる読み聞かせの充実
    - ・図書館便りの発行、図書館内の掲示物・表示物の充実
- (3) 成果
  - 幼保小中の連携が深まり、自己肯定感が上がった。
  - 読書を推進する取組の充実により、図書の貸出冊数が大幅に増加し、読書に親しむ児童が増えた。

## 新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日  
学級数 17 学級 校長 小崎 賢司  
児童数 417人 教頭 山本 武



- <教育目標>  
よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子
- <研究主題>  
学びの生活化・社会化～人・地域・自然とのつながり15歳の姿を育む～
- <重点教科等>  
生活科・総合的な学習の時間を中心に
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ 「やる気・本気・根気・勇気」
- (2) 取組内容
  - ①学力向上
    - ・学習規律の統一(話の聞き方、発表の仕方、授業の挨拶)
    - ・高学年での一部教科担任制
    - ・家庭学習強化週間の実施
    - ・基礎学力向上に向け、基礎基本タイムを充実
  - ②幼保小中を一貫した教育の推進
    - ・中学校教諭との外国語・外国語活動
    - ・年長児との「ふれあい給食」を実施
    - ・中学生との合同音楽朝会を実施
  - ③元気なあいさつのあふれる学校
    - ・年間を通した挨拶運動の実施
    - ・地域の方々による挨拶の励行
- (3) 成果
  - 授業方法を学校全体で見直し、発問、板書、話し合い活動の工夫やICTの活用をすることで、児童の学習意欲が向上し表現方法などに多くの工夫が見られた。
  - 幼保小中を一貫した教育が充実するため中学校区の教員との情報交換を行い、地域として子どもを育てるという体制がより充実した。
  - あいさつ習慣が浸透し、笑顔と活気にあふれた学校づくりをすすめることができた。

## 谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日  
学級数 24 学級 校長 森田 恵子  
児童数 686人 教頭 磯川 剛



<教育目標> やさしく つよく かしこく  
<研究主題> 主体的・対話的で深い学びの実現  
～国語科・算数科・特別の教科 道徳の指導を通して～  
<重点教科等> 全教科  
<特色ある学校づくりへの取組>  
(1) キャッチフレーズ  
「ふるさと ふれあい 谷塚小学校」  
(2) 取組内容  
○全職員の「熱意・誠意・創意」を結集させ、信頼される学校づくりを推進する。  
①基礎・基本の定着  
・学習規律の徹底 ・「谷塚小スタンダード」の継承  
・朝自習（算数タイム：E-Time：国語タイム）の工夫  
・「家庭学習のすすめ」を踏まえた家庭学習の充実  
・「草加サタデースクール」の効果的な運用  
②幼保小中を一貫した教育を推進する取組・活動の充実  
・児童一人ひとりを大切に、確かな学力を身につけさせる指導法の研究  
③学習意欲を高める教育環境の構築  
・ICTの積極的な活用（電子黒板・タブレット型PC等）  
④生徒指導・いじめの根絶  
・基本的生活習慣の確立（あいさつ・返事・廊下歩行）通年  
・いじめ防止推進法の改正に伴う保護者等への周知徹底  
⑤家庭・地域・中学校との連携《絆を深める教育活動》  
・「8が付く日は谷塚の日」あいさつ運動の取組  
⑥複合施設としての利点をいかした教育活動の創意工夫  
(3)成果  
○元気な挨拶を交わし、学校大好きな児童が増加。  
○家庭・地域力を生かした特色ある教育活動の充実。

## 栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日  
学級数 23 学級 校長 鈴木 輝子  
児童数 644人 教頭 関 敬之



教育目標 > よく考える子 思いやりのある子  
ねばり強い子 体をきたえる子  
<研究主題> 児童が生き生きと活動する授業づくり  
<重点教科等> 図画工作科  
<特色ある学校づくりへの取組>  
(1) キャッチフレーズ  
「さわやか かつき えがお の さかえ」  
(2) 取組内容  
①学級・学年経営の充実  
・魅力ある学級づくり・常に一步前進の教育・協働と協調  
②学習指導の充実  
・栄小スタンダードの充実と発展（図画工作科の研究）  
・家庭教育の充実 ・読書活動の推進  
③豊かな心を育む指導の充実  
・道徳教育の充実 ・人権教育の推進 ・特別活動の充実  
・「いのちの大切さ」を実感する教育の推進  
④健康な体づくりの推進  
・体力向上の推進 ・健康の保持増進に係る指導の充実  
⑤生徒指導の充実  
・いじめの撲滅 不登校の解消 ・教育相談の充実  
⑥開かれた学校づくりの推進  
・コミュニティースクールの充実  
・幼保小中を一貫した教育の推進（ふるさと草加の取組）  
⑦特別支援教育の推進  
・関係諸機関との連携 ・交流教育の充実  
<成果>  
・外国語活動・外国語科の研究委嘱に取り組み、教師の指導力が向上し、児童のコミュニケーション力を高めることができた。  
・幼保小中を一貫とした教育の取組や学校運営協議会の実施により、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進することができた。

## 川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日  
学級数 22 学級 校長 谷口 慎一  
児童数 562人 教頭 森田 光信



<教育目標> かしこく なかよく たくましく  
<研究主題> 学ぶ喜びを味わわせる授業の創造  
～学級経営を基盤として～  
<重点教科等> 国語・体育・道徳・特別支援教育  
<特色ある学校づくりへの取組>  
(1) キャッチフレーズ  
「子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と活気あふれる川柳小」  
(2) 取組内容  
①家庭地域の取組  
・幼保小中を一貫した教育の充実  
・ノーテレビ・ノーゲームデーの推進（毎月21日）  
②教育課程の取組  
・読書の充実（朝読書の活用、図書館貸出目標 23000冊）  
③各教科・領域の取組  
・高学年教科担任制の実施（理科、社会、図工、外国語、家庭科、音楽、算数）  
・ICT教育の推進（クロムブック活用、デジタル教科書・Googleクラスルームの利用）  
④校内研修の取組  
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
・校内公開授業の充実  
⑤その他の取組  
・学校ファーム整備（枝豆栽培・学年園の開墾）  
・ICT機器の積極的な活用（クロムブック活用など視聴覚教材）  
・あおば学園との連携・作品交流

## 瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日  
学級数 19 学級 校長 奥村 勇  
児童数 542人 教頭 長曾 亜希子



<教育目標>  
心豊かで たくましい子  
<研究主題>  
確かな学力と豊かな心を育成したたくましく生きる児童の育成  
～自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を通して～  
<重点教科等>  
全教科  
<特色ある学校づくりへの取組>  
(1) キャッチフレーズ  
「まなびいっぱい たくましさいっぱい やさしさいっぱい」  
(2) 取組内容  
①まなびいっぱい  
・委嘱研究の推進（自己肯定感・自己有用感を育む授業）  
・ICTの積極的な活用（GIGAスクール構想の推進）  
・落ち着いた学級経営（学習規律と良好な友だち関係）  
②たくましさいっぱい  
・体力の向上（体育授業の充実、運動遊びの活性化）  
・保健教育（健康な体づくり、早寝・早起き・朝ごはん）  
・食育の充実（栄養教諭の授業参加、給食だよりの発行）  
③やさしさいっぱい  
・心の教育の充実（道徳教育の充実、あいさつの推進、いじめを許さない学級・学校づくり）  
・学習環境の整備（清掃活動の徹底、掲示の工夫）  
(3) 成果  
○委嘱研究を推進し、自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を行うことができた。  
○新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、工夫して教育活動を進めることができた。

## 西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日  
 学級数 21 学級 校長 須賀 達也  
 児童数 643人 教頭 佐々木 和寿



<教育目標>
よく考え 工夫する子 心豊かで 思いやりのある子 たくましく ねばり強い子
<研究主題>
プログラミング的思考を育む学びの実践 ～情報活用能力の育成を通じたプログラミング教育～
<重点教科等>
(1) 幼保小中を一貫した教育の推進
(2) ICTの活用
(3) 新しい時代に必要とされる資質や能力の育成
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ 感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町
(2) 取組内容
①標準カリキュラムを活用した15年間の学びの確立
②草加中学校区の15歳の姿を見据えた教育活動の推進
③デジタル教科書等、ICTの積極的な活用
④ICTサポーターの積極的な活用
⑤GIGAスクール構想の具体化
⑥「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
⑦「外国語科・外国語活動」の充実
⑧プログラミング教育の推進
⑨読書活動の推進
(3) 成果
○授業改善や各取組の充実が図られ学力の向上が見られた。
○指導計画の中にプログラミング学習を取り入れることで、 めあてを明確にした学習を展開することができた。
○ICT機器を使用しない活動でも、目的を達成するための 手順を、児童が考えられるようになった。

## 新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日  
 学級数 24 学級 校長 柳田 加代  
 児童数 696人 教頭 篠崎 光浩



<教育目標>
かしこく なかよく たくましく
<研究主題>
「基礎的・基本的な言語能力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成 ～読むことを中心とした言語活動の創意工夫と国語科の授業づくりを通して～」
<重点教科等>
国語科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ にっこにこ さわやかあいさつ ともだちいっぱいの新里小
(2) 取組内容
①わかるー学力向上タイム、本とのふれあい・読み聞かせ、T T による指導、少人数指導
②助け合うー兄弟学級交流活動、児童会活動 (募金活動・リサイクル活動)
③鍛えるーマラソン・なわとび・各種大会の参加
④ふれあうー学校応援団、ロング昼休み、平成塾、地域学習(藍染・皮革等の伝統工芸、煎餅焼き等)の充実
⑤つながるー近隣の幼稚園・保育園・中学校・高等学校との連携 交流学習、あいさつ運動、地域ふれあいまつり
(3) 成果
○コロナ禍で交流活動は減っているが、地域の学習を通して地域 の一員であると自覚し、学校・地域を大切に想う児童が増えている。
○T Tや学習補助員の活用を通して、個に応じた指導機会を増やす ことが学力の向上に結び付いている。
○様々な活動を通して自己肯定感を高めることができています。

## 花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日  
 学級数 17 学級 校長 寺本 博美  
 児童数 540人 教頭 鈴木 孝夫



<教育目標>
考える子 思いやりのある子 体をきたえる子
<研究主題>
心豊かに、自ら考え、解決しようとする児童の育成 ～算数科の誰もが分かる授業を目指して～
<重点教科等>
算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ 「あいさつじまん どくしょじまん そうじじまん」
(2) 取組内容
①一人ひとりの個に応じた教育の推進と確かな学力と生きる力 の育成
・学びは子どもの夢と希望の中核
②心潤う生徒指導による豊かな心の育成
・一人ひとりが「かけがえのない存在」
③人権を大切に教育の推進
・自然に笑顔になれること・人も自分も幸せであること。
④体育的活動の充実と体力の向上の推進
・児童一人ひとりの課題に応じた取組に重点を置き、総合的な 体力の向上を図る。
⑤安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備
・命、安全を守るため、安全管理や指導の徹底を図る。
⑥地域との連携の強い本校の特色を継承した、地域から愛され 信頼を深める特色ある学校づくりの推進。
・家庭・地域・関係機関等と一体となった教育を推進する。
(3) 成果
○「あいさつじまん 南っ子」をキャッチフレーズとして、 さわやかなあいさつが定着している。
○家庭・地域・学校が一体となった教育を実施。

## 八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日  
 学級数 28 学級 校長 和田 卓  
 児童数 778人 教頭 小沼 健寛



<教育目標>
勉強する子 良い子 強い子
<研究主題>
主体的に学ぶ児童の育成
<重点教科等>
国語科・読書活動
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ 「子どもたちがよさや可能性を発揮できる八幡小」
(2) 取組内容
①「やる気で勉強」
・授業を充実し、確かな学力を確実に伸ばす (草加っ子の学びを支える授業の5か条)
・意欲的に学ぶ態度の育成 (タブレットを使った授業の開発と実践)
②「はっきりあいさつ」
・豊かな心の育成(読書活動の充実)
・基本的生活習慣の確立(早寝、早起き、朝ご飯)
③「たくさん運動」
・体力の向上(体育授業の充実)
・健康な体づくり(グリーンコース100周、休まず登校)
④「生きる力を共に教え育てる学校・家庭・地域の絆」
・読み聞かせ、地域パトロール(みはるくん)、農業体験
(3) 成果
○継続した研修により授業改善が図られ、学力が向上した。
○ICT環境の整備により意欲的に学習する児童が増えた。
○コロナ禍においても、学校・家庭・地域が一体となり、 工夫して教育活動を進めることができた。

## 新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日  
学級数 15 学級 校長 平野 晴彦  
児童数 412人 教頭 藍原 正明



- <教育目標> なかよく かしこく たくましく  
<研究主題> 夢や希望を持ち、学び続ける子どもの育成  
～主体的に学びに向かう力の育成を通して～  
<重点教科等> 全教科  
<特色ある学校づくりへの取組>  
(1) キャッチフレーズ  
新栄スタンダード「あたり前の事があたり前にできる」  
～継承の中の創造・全力で挑戦～  
(2) 取組内容  
①確かな学力を育む教育の推進  
・タブレット型PCの活用による授業改善  
・教科担任制授業の推進 読書指導の充実  
(年間1～3年50冊・4～6年35冊以上)  
・「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」  
・「新栄中学校区家庭学習チャレンジ週間」  
②豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進  
・あいさつ運動 考え、議論する道徳授業の推進  
・学級活動の授業の充実(学級会年間10回以上)  
・花いっぱい活動(植栽ボランティア)  
③体力向上・健康教育の継続  
・さわやかタイムを中心とした体育活動の充実  
・虫歯治療、「早寝早起き朝ごはん」の啓発  
(3) 成果  
○より一層安全安心を考慮した学校行事や授業公開の実施  
に対して、保護者・学校関係者から高評価を得ている。  
○新栄中学校区統一の取組が保護者・児童に浸透し、家庭  
で学習・生活習慣がより定着してきている。

## 清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日  
学級数 30 学級 校長 鈴木 英治  
児童数 892人 教頭 撰 郁子  
小林 和美



- <教育目標> なかよく かしこく たくましく  
<研究主題> 「夢や希望をもち、学び続ける子どもの育成」  
～主体的に学びに向かう力の育成を通して～  
<重点教科等> 全教科  
<特色ある学校づくりへの取組>  
(1) キャッチフレーズ  
「児童一人ひとりが輝き、笑顔あふれる学校」  
(2) 取組内容  
①なかよくの具体化  
・いじめはしない、させない、ゆるさない  
・「友だちの日」に互いのよいところを認め合う  
自己肯定感を高める活動の充実  
・「環境が人を育てる」心を豊かにする掲示物  
②かしこくの具現化  
・幼保小中一貫教育で系統的な教育の実施  
・読書の励行、学校図書館活用の推進  
・保護者の協力のもとによる家庭学習の定着  
「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」  
「新栄中学校区家庭学習チャレンジ週間」  
③たくましくの具現化  
・業前運動さわやかタイムの充実  
・家庭と連携した「早寝 早起き 朝ごはん」  
(3) 成果  
○幼保小中一貫教育、乗り入れ授業の実践により  
算数科の学力が向上した。  
○「障がい者の日」など様々な問題を身近なこと  
として学ぶことで人権感覚が育ってきている。

## 稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日  
学級数 17 学級 校長 中田 順一  
児童数 435人 教頭 須賀 由美



- <教育目標> 自ら学び 心豊かに たくましく  
<研究主題> 自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成  
～各教科の指導と評価の一体化を目指して～  
<重点教科等> 算数科  
<特色ある学校づくりへの取組>  
(1) キャッチフレーズ  
花さく 夢さく 笑顔さく  
明日への希望 いなりっ子  
(2) 取組内容  
①児童一人ひとりを大切にする教育の推進  
・松江中学校区小中一貫教育の取組  
・授業のユニバーサルデザイン化の取組  
・「学力向上アクションプラン(仮)」の取組  
②「働き方改革」の推進  
・「稲荷小働き方改革ランドデザイン」の取組  
・働きやすい職場づくりの取組  
・働きがいの高い職場づくりの取組  
③家庭・地域との協働  
・学校運営協議会との連携・協力  
・パトロールステーションとの連携・協力  
・学校紹介資料「よく分かる!稲荷小」の作成  
(3) 成果  
○埼玉県学力・学習状況調査において、伸びが見られ  
るようになってきた。  
○児童の自己肯定感・自己有用感が高まってきた。

## 氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日  
学級数 21 学級 校長 岡村 勝成  
児童数 579人 教頭 赤坂 佳美



- <教育目標> 学びあい 助けあって 自分を高める  
<研究主題> 主体的、対話的で深い学びの実現  
～生き生きと自分の考えを伝え合う子をめざして～  
<重点教科等> 外国語・ICT・ふるさと草加(幼保小中を一貫した教育)  
<特色ある学校づくりへの取組>  
(1) キャッチフレーズ  
「潤いと響き、子どもたち一人一人を大切にする あたたかな学校」  
(2) 取組内容  
①子どもが伸びる学校  
・主体的、対話的で深い学びの授業の充実  
・ICT機器の活用(タブレットの有効活用)  
・道徳教育の充実「考え、議論する道徳の実践」  
②子どもたちが生き生きと活動する学校  
・あいさつ、返事、やさしい言葉がけの励行  
・いじめ防止推進委員会の充実  
③保護者・地域と共に歩む学校  
・コミュニティースクールの推進  
・幼稚園や保育園、中学校との連携・交流の推進  
・PTAや地域の活動、学校応援団との協力  
④教育環境を大切にする学校  
・清掃指導の充実(黙勤清掃等)  
・季節の草花の世話、木々の手入れ等  
(3) 成果  
○タブレット端末等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を  
推進し、児童の理解を確かなものにすることができた。  
○ALTと連携した外国語活動・外国語科の授業により、コ  
ミュニケーション力の向上を図ることができた。

# 八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日  
学級数 16 学級 校長 松本 由美  
児童数 435人 教頭 蘇武 敏行



<教育目標>  
なかよく (徳) かしく (知) たくましく (体)

<研究主題>  
『主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり』  
～学ぶ喜びを味わわせる授業の創造～

<重点教科等> 算数・体育・特別活動

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ  
「知・徳・体の調和のとれた笑顔あふれる八幡北小」

(2) 取組内容

- ①自ら学ぶ力を育てる (学力の伸び率の重視)
  - 主体的・対話的で深い学びの実現
  - 草加市教育委員会研究委嘱
- ②豊かな人間性を養う (いじめ0、不登校0)
  - 道徳教育の充実
  - 人権教育の充実
  - 学校図書館教育の充実
  - 生徒指導・教育相談の充実
- ③たくましく生きる力を養う (新体力テストA+B+C 80%)
  - 体力向上と健康教育の充実
- ④ICTの積極的な活用とGIGAスクールの円滑な導入と活用
- ⑤コロナウイルス感染症対策の徹底
- ⑥学びを止めない、学びの保障

(3) 成果

- 幼保小中を一貫した教育が深まり、校種間の連携が円滑になってきている。
- 集団や自己の課題に対し、合意形成を図ったり、意思決定したりする児童が増えた。

# 長栄小学校

創立年月日 昭和55年4月1日  
学級数 19 学級 校長 嶋田 弘之  
児童数 486人 教頭 長谷川 淳



<教育目標>  
よく考える子 思いやりのある子 たくましい子

<研究主題>  
学びの生活化・社会化  
～人・地域・自然とかかわり 15歳の姿を育む～

<重点教科等> 幼保小中を一貫した教育

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ 「笑顔あふれる長栄っ子」

(2) 取組内容

- 「生きる力」の理念に基づく徳・知・体の総合的な育成
- ・道徳的実践力を育む道徳教育 (こころのおとの取組)
- ・考える習慣の定着等、学力の素地づくり
- ・生命の尊重・感染予防・食育・安全と体力向上
- ・資質・能力ベースの評価 (草加っ子の基礎・基本を含む)
- 幼保小中を一貫した教育課程
- ・幼保小接続と小中一貫 (スタートカリキュラム、  
「学ぼう!ふるさと草加」の実践、乗り入れ授業等の実践)
- 『主体的・対話的で深い学び』の実現
- ・児童理解 (特別支援教育を含む) に基づく学級経営
- ・問題発見・問題解決・吟味・論理的思考・見通しと  
ふりかえりのある授業実践の継続
- ・読書の量確保と質向上
- カリキュラム・マネジメントの実施
- ・各種調査と幼保中特との連携及び家庭・地域  
(学校運営協議会) との連携による子どもの育ちの把握・  
改善・見届け

(3) 成果

- 目指す子ども像に関し、園、学校・家庭・地域での  
共通理解が図られつつある。
- 学校での生活や学習に落ち着きが見られる。

# 青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日  
学級数 14 学級 校長 野村 真一  
児童数 362人 教頭 土屋 貴一



<教育目標>  
あ：明るく元気な子 お：思いやりのある子  
や：やりとげる子 ぎ：きたえる子

<研究主題>  
自ら学び、共に高め合い、最後まで『やりとげる子』の育成  
～幼保小中を一貫した教育の視点と主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

<重点教科等> 国語

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ  
「明るく 元気で 笑顔輝く 青柳小」  
三かけ教育の推進 (目をかけ、声をかけ、心をかける)

(2) 取組内容

- ①学力向上 (やりとげる子)
  - ・中高学年の授業で一部教科担任制を実施
- ②体力向上 (きたえる子)
  - ・授業力の向上 ・外遊びの奨励
- ③豊かな心 (思いやりのある子)
  - ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の推進
  - ・規律ある態度の育成 ・特別活動の充実

(3) 成果

- 青柳小授業スタンダードの活用により、学力の向上を図ることができた。
- 幼保小中を一貫した教育を実施することで、新1年生も落ち着いて生活することができた。

# 小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日  
学級数 14 学級 校長 岩淵 健志  
児童数 399人 教頭 佐々木 紀剛



<教育目標>  
進んで学ぶ子 思いやりのある子 体をきたえる子 ねばり強い子

<研究主題>  
自己の生き方についての考えを深め よりよく生きようとする  
児童の育成  
～「考え、議論する」道徳科の授業をとおして～

<重点教科等>  
特別の教科 道徳

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ  
「笑顔いっぱい」の夢ふくらむ学校  
～地域と共にある学校づくり～

(2) 取組内容

- ①進んで学ぶ子
  - ・授業5か条の定着
  - ・授業の約束の指導徹底
  - ・腰立タイムの活用
- ②思いやりのある子
  - ・道徳教育のさらなる充実
  - ・言語指導の充実
- ③体をきたえる子
  - ・走力、跳力の向上
  - ・早寝早起き朝ごはんの励行
  - ・学校保健、食育指導の充実
- ④ねばり強い子
  - ・5つの「します」の徹底
  - ・勇気づけ、見届けの徹底

(3) 成果

- わかる授業の実践により、基礎学力の定着が図られている。
- 昨年度、埼玉県道徳教育研究推進モデル校としての研究発表を行い、自分の考えを自分の言葉で伝えられる児童が増えた。
- 地域・家庭・学校が一体となった教育活動を実施している。

## 両新田小学校

創立年月日 昭和57年4月1日  
学級数 16学級 校長 上野 雅祥  
児童数 419人 教頭 高橋 康子



<p>&lt;学校教育目標&gt; 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子</p> <p>&lt;研究主題&gt; 問題に主体的にアプローチできる児童の涵養 ～生きて働く「知識及び技能」を習得させる授業の設け～</p> <p>&lt;重点教科等&gt; 算数科</p> <p>&lt;特色ある学校づくりへの取組&gt;</p> <p>(1)スローガン 「学ぶ子われら 光る子われら 笑顔かがやけ 両新田小」</p> <p>(2)取組内容</p> <p>①学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・算数科における基礎基本の定着を目指した授業改善</li><li>・授業規律の確立・ICT機器を有効活用した授業実践</li></ul> <p>②幼保小中を一貫した教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・目指す子ども像の共有・実現・乗り入れ授業の充実</li></ul> <p>③安全・安心で開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・家庭・地域・関係機関との連携の充実・HPの有効活用</li></ul> <p>④生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・積極的・組織的な生徒指導・教育相談の充実</li><li>・問題行動、いじめの未然防止、早期発見・早期対応</li></ul> <p>⑤豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道徳教育の充実、人権教育の充実、特別活動の充実</li></ul> <p>⑥健康でたくましい児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体育科授業と体育的諸活動の工夫と充実 ・歯磨き指導の充実</li></ul> <p>(3)成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・校内研修や教材研究の時間を確保したことにより、授業や自主学習に積極的に取り組む児童が増えた。また、市学調や県・全学調の結果に伸びが見られた。</li></ul>
---

## 松原小学校

創立年月日 平成21年4月1日  
学級数 16学級 校長 中村 哲也  
児童数 386人 教頭 村田 隆一



<p>&lt;教育目標&gt; 心身ともに健康で、自ら学ぶ子</p> <p>&lt;研究主題&gt; 『主体的に学び、自身の学力に結びつける児童の育成』 ～学習意欲を持たせ、確かな学力に結び付ける授業づくり～</p> <p>&lt;重点教科等&gt; 国語科、算数科を中心とした学力向上を重点とした研究</p> <p>&lt;特色ある学校づくりへの取組&gt;</p> <p>(1) キャッチフレーズ 『やさしさと 笑顔でつなぐ 松原っ子』</p> <p>(2) 取組内容</p> <p>①『読書活動の推進』</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・読書ビンゴや読書スタンプラリーの実施。</li></ul> <p>②『健やかな体づくり』</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ感染症の中、規則正しい生活習慣の確立。</li></ul> <p>③『松原小の基礎・基本の徹底』</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・朝活動での、国語・算数の基礎・基本の定着の推進。</li><li>・読書を活用した語彙力の向上。</li></ul> <p>④『季節と心情あふれる全校児童による俳句づくり』</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・俳句に親しみ、心豊かに育むための俳句作りの継続。</li></ul> <p>⑤『幼保小中を一貫した教育の推進』</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「スタートカリキュラムの共有」「幼保小中一貫だよりの発行」</li></ul> <p>(3) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○一人あたりの本の貸し出し数の増加が見られた。</li><li>○栄小学校、栄中学校、さらには幼稚園、保育園とも情報交換を行うなど幼保小中を一貫した教育を継続して進めることができた。</li></ul>
---